

## 「税の標語」・「税についての作文」

全国納税貯蓄組合連合会並びに国税庁が主催した中学生の「税の標語」、「税についての作文」。本町から作品を応募した神崎中学校3年の武田美波さんが標語で佐原税務署管内佐原間税会会長賞を、作文で佐々木ヒトミさんが神崎町長賞、根本光希さんが香取地区教育委員会連絡協議会会長賞、村田洋月さんが一般社団法人香取青色申告会会長賞をそれぞれ受賞しました。

武田美波さん、佐々木ヒトミさんの作品を紹介します。

### 【標語】 佐原税務署管内佐原間税会会長賞

## 夢がある 未来を築く 君の税

神崎中学校3年 武田 美波



武田 美波さん



佐々木 ヒトミさん

### 【作文】 神崎町長賞

## 私たちにとって当たり前なこと

神崎中学校3年 佐々木 ヒトミ

「教科書が無料なんてありがたいね。」  
これは、母が私に言った言葉だ。普段あまり気にしていなかったため、私は戸惑った。

私の母はフィリピン人だ。日本とフィリピンでは文化が違ふところがたくさんある。私は二年に一度ほどフィリピンに行く。フィリピンに行った際、毎回思うのが日本は本当に恵まれているということだ。日本では、中学生まで教科書が税金によって無料で一人一冊ずつ支給される。それに比べてフィリピンでは、学校から借りるかたちになっていて学年が終わると学校に返さなければならぬのである。

何人もの生徒が同じ教科書を何回も使うため、ボロボロになってしまい、中の文字が読めないものもある。私がこの事実を知ったのは最近だった。そのときようやく母が私に言った言葉の意味を理解した。この他にも私が驚いたことがある。フィリピンには屋台が至るところにある。その中でジュースを売っている屋台を見つけた私は、とても喉が乾いていたので母に買ってもらおうと声をかけた。

「喉が乾いたからあのジュース買ってくれない？」

「だめ。屋台のは危険だからコンビニまで我慢して。」

私はその時なぜだめと言われたのか理解ができなかった。調べてみると、フィリピンの水道水は飲めないという記事を見たので、飲まなくて良かったと思った。日本と違い、フィリピンは水質が悪いため屋台などで売られているジュースを飲むとお腹を壊すこともあるそうだ。日本では、当たり前のように水道水を飲んだり、水道水で顔を洗ったりしている。これも実は税金のおかげだということを知った。

このように、私は日本とフィリピンを比較して、教育や生活の面で不自由がない日本の良さを改めて感じるとともに、税金に対する考え方も変わった。両国を比較するまで、税金の使い道を知らなかった私は不満ばかりだった。しかし、比較することにより、税金は私たちにとって当たり前だと思うことを支えているものであり、私たちの暮らしに欠かせない大切なものだ実感することができた。税金について深く考えることにより、より良い未来を築いていけるのではないかなと思う。